

# ダムの働き「F: 洪水調節」 雨がふる前

洪水調節に  
必要な容量を  
あけておきます

流入量

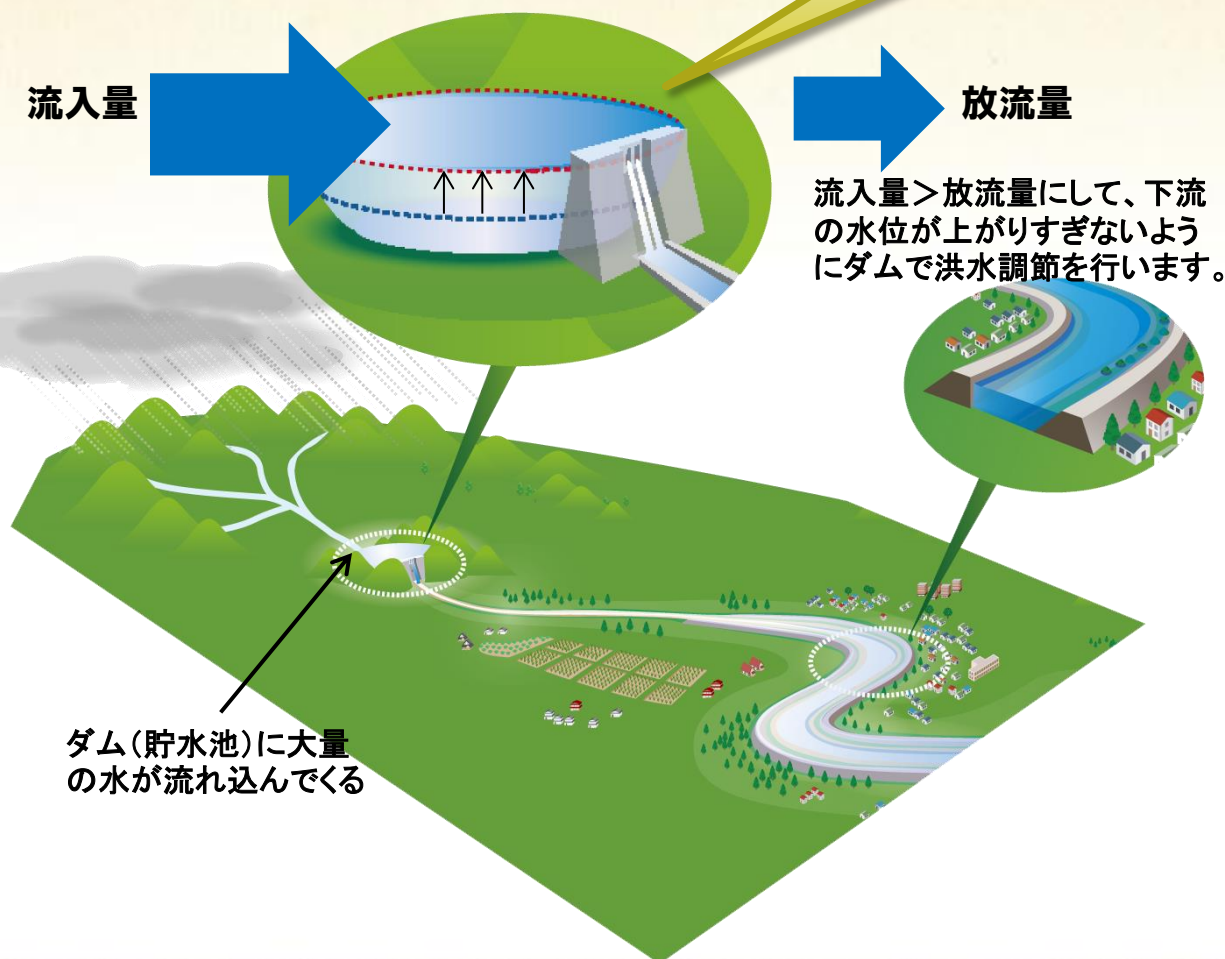
放流量

雨がふる前は、ダムに流入する量をそのまま放流し、洪水調節に必要な容量をあけておきます。

この時は、川の水位も上がっていない状態です。

# ダムの働き「F: 洪水調節」 大雨になったら

可能な限り水を  
貯め込みます



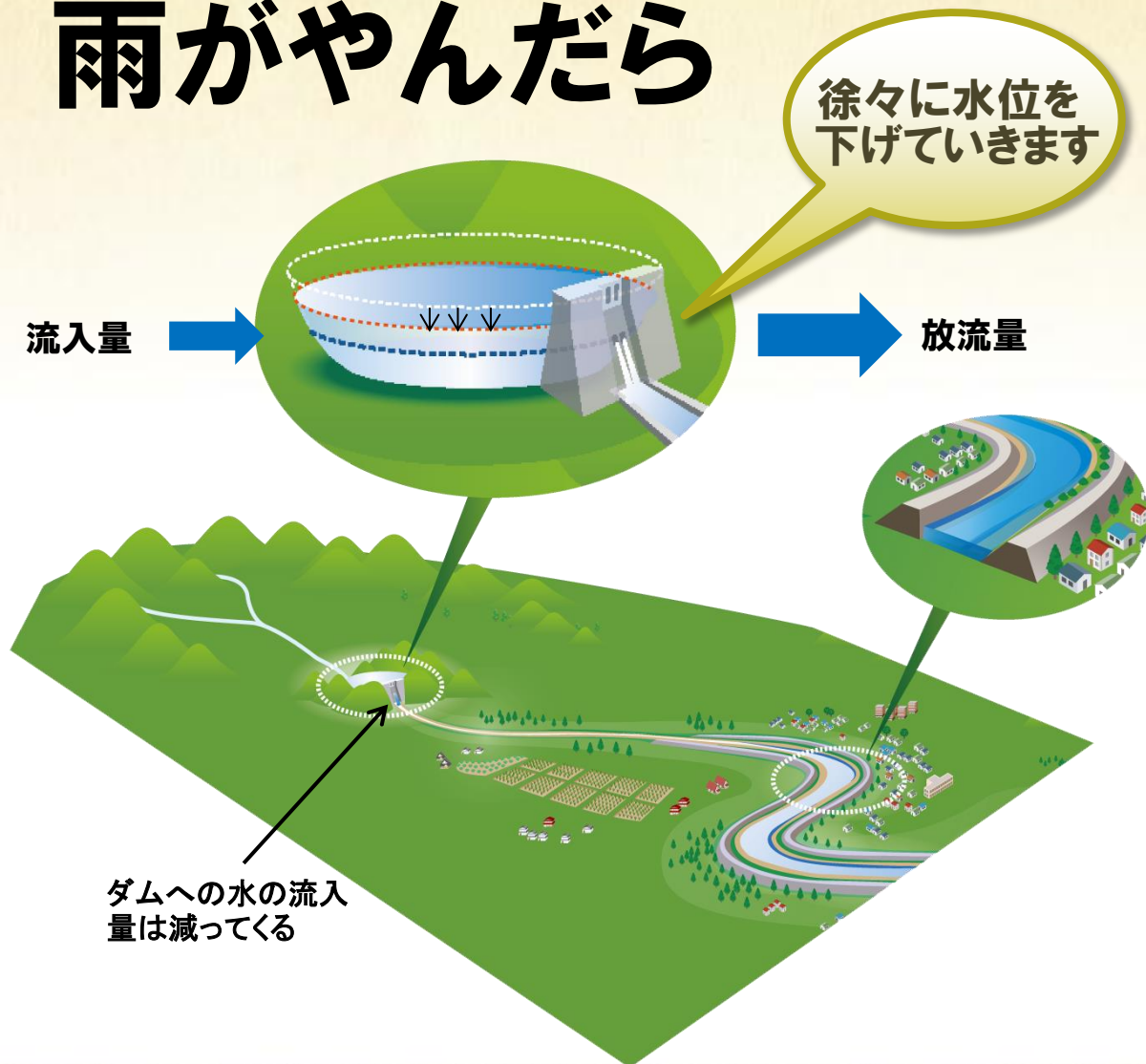
このダムの操作を「防災操作」といいます。実際の例は、[「ダムリアルデータ」](#)の各事例をご覧ください。また、※ダムの操作については[「カワナビ vol.6」](#)で詳しく説明しています。

大雨になり、ダムに流入する量が規定に達したら、放流量を抑えてダムに水をため込みます。

この時、ダムから放流も行っていきますが、上流から流れてくる量をこえて放流することはありません。

そうやって、下流の水位があがりすぎないように調節します。

## ダムの働き「F: 洪水調節」 雨がやんだら



流入量<放流量にして、ダムの水位を元に戻します。実際の例は、[「ダムリアルデータ」](#)の各事例をご覧ください。

大雨がやんで、ダムに流入する量が減ってきたら、下流に安全に流せる範囲で流入量よりも放流量を徐々に多くし、ダムの貯水位を下げます。

こうして、元の貯水位まで下げて、次の大雨に備えておきます。

# もしも・・・

大雨のとき、ダムがなく、川で流せる量を超える規模の洪水が発生したら、川の水位が上がりすぎて、川の水があふれてしまうかもしれません。

